

植物防疫情報第2号

平成 29 年 7 月 6 日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

アワヨトウの発生に注意してください！

7月上旬に県北部のイネ科牧草（イタリアンライグラス）において、アワヨトウの幼虫が多発生し、葉が食害される被害が確認されました（図1）。今後、イネ、トウモロコシなどのイネ科作物では、本虫による被害が懸念されますので場及びその周辺をよく観察し、本虫の動向に注意してください。

防除上の参考事項

1. 本幼虫の体側には明瞭なスジがあり、頭部はオレンジ色でハの字型黒い筋がある（図2）。
2. 本虫は主にイネ科作物を加害し、ゴルフ場の芝の他、雑草地、河川敷、道路の法面などのイネ科雑草にも発生する。6月下旬頃より中国地方の各県において、本虫の多発生によるイネやイネ科牧草での被害が確認されており、イネでは株が小さいうちから茎葉が食害される。
3. 多発生した場合には幼虫が集団で歩行行動をする。水田への本幼虫の侵入は圃場周辺からと考えられ、深水管理することで阻止できる。
4. 本成虫は開張（羽を広げた時の大きさ）約40mmのガで、今回の多発生は突発的であることから、成虫が温暖な地域から長距離飛行してきたと考えられる。1月の平均気温が4℃以上の温暖地のイネ科植物の基部で越冬する。
5. 薬剤の防除効果は、幼虫発生初期（若齢幼虫期）が高く、老齢期には効果が劣る。

アワヨトウの主な防除薬剤

（平成29年7月6日現在）

作物名	薬剤名	農薬使用基準		
		希釈倍数 (処理量)	時期	回数
いね科牧草	スミチオン乳剤	1,000倍 (100~300リットル/10a)	収穫14日前まで	2回以内
とうもろこし ※飼料用とうもろこしは含まない	アグロスリン乳剤	1,000倍 (100~300リットル/10a)	収穫7日前まで	3回以内
	トレボン乳剤	1,000倍 (100~300リットル/10a)	収穫7日前まで	4回以内



図1 幼虫に加害されたイタリアンライグラス



図2 老齢幼虫

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、農薬飛散に注意するなど、安全・適正に使用するようにお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。

